

槍ヶ岳 ようやく宿題完了！

報告：TI

◎期日：令和5年8月23日～26日

◎メンバー：TI（単独）

槍ヶ岳に登りたいと思い立ってからはや5年、3回目の挑戦だ。過去2回は天候に恵まれず槍の穂先に立つことができなかった。もしかして過去2回は槍ヶ岳山荘に宿泊しなかったから穂刈家の呪いか？などと思い、今回はしっかりここに宿泊予約をした。当初は去年と同じ8月初旬の予定だったが台風接近などがあり今回の8月末に計画変更となってしまった。

(1日目) 上高地バスターミナル→槍沢ロッジ宿泊

今回は東京駅発のさわやか新州号がなく新宿のバスタからの出発となる。目が覚めれば上高地バスターミナルに到着の夜行バスは今回も満席だった。賑わいはそうでもなかった。いつも通り河童橋のライブカメラで主人に「行ってくるよ～」と挨拶して出発する。横尾までは高低差もあまりなくのんびり歩く事ができるが、このところ午後から天気が崩れる日が続いているため写真は少なめにも思いながらも、次々に出てくる花々についついカメラのシャッターを押してしまう。今年は熊の出現が多いのか警告の看板と熊鈴の設置が増えている。1時間半ほどで徳澤に到着。いつかはここでテント泊をしてみたいと思いながら軽く朝食をとる。横尾を過ぎると少し山道らしくなってくる。今年もこの俣からペースダウンしてしまったがなんとか午前中に槍沢ロッジに着くことができた。小屋前のテーブルは去年は大勢の人で賑わっていたが、今回は閑散としていて少し寂しさを感じながらカレーと槍沢ソーダレモネードで昼食をとる。そのあとコーヒーを飲もうと再度外に出たら雨が降り出してきた。昨年に続いての宿泊なのでお風呂は時間の少し前から並ぶとカールがわかっていたので早めに入浴できた。晩ごはんは去年と同じ唐揚げだったがご飯とみそ汁をしっかりお代わりしてしまった。

(2日目) 槍沢ロッジ→大曲→天狗原分岐→槍ヶ岳山荘宿

朝ご飯はしっかり食べることができた。今日は槍の肩までの長丁場だ。小屋前の望遠鏡からは槍の穂先を見ることができた。昼までに片野の小屋に到着し天気が持てば穂先に登りたいと思い歩き出す。天狗原分岐を過ぎると登りも徐々に増してきて息が切れてくる。唯一の水場では冷たく甘い水でのどを潤し、播隆窟を過ぎると100m毎に肩の小屋までの距離が書かれた岩が現れた。するとそれまで雲に隠れていた槍の穂先が「よく来たな！」と顔を出し出迎えてくれた。また左側には去年悪天候の中歩いた東鎌尾根を見え懐かしく思った。しかしあと500mと言う所で雨が降ってきてしまった。まだ午前中なのに……。慌ててレインを取り出し上着だけを着る。幸いにも雨は大降りにはならず肩の小屋に着くことができた。

受付を済ませ部屋に入るとすでに到着していた人達と穂先にいつ登るかの話題で盛り上がった。これから穂先に行くという人もいたが私は明日早朝に登ることにゆっくりすることにした。肩の小屋は賑わっていて夕食の時は食堂までの長い列ができ「さすが！」と感心してしまった。

(3日目) 槍の穂先→徳澤園宿

朝食をお弁当に替えみんなが朝食をとっている間に穂先に登ることにしたため、4時半には小屋を出て同室で仲良くなった人と穂先に向かう。岩場は三点支持を心がけ一步一步登っていく。最後の梯子は恐怖感を感じる暇もなく登ることができとうとう山頂に立つ事ができた。360度遮るものがない山頂から今まで映像や写真でしか見たことがなかった双六方面の山々、鷲羽岳、水晶岳等を見た時の感動は今でも忘れられないものとなっている。それらが朝日に赤く染まっていく景色はいつまでも消えないでいて欲しいと思った。本当はもっともっと山頂にいたかったが、次々と登ってくる人で混雑してきたため下山することにした。

下山後、お弁当の朝食を食べ徳澤に向かって歩き始める。水場付近までは振り返ると槍の穂先が見え、まるで見送っているようだった。途中、槍沢ロッジで昼食をとりこの日の宿泊地の徳澤まで歩く。

(4日目) 徳澤→上高地バスターミナル

今日は上高地バスターミナルに向かうだけ。念願の槍ヶ岳に登頂でき嬉しいのになぜか徳澤を出るとき帰りたくない気持ちが強かった。もう来なくなるわけではないのだからと自分に言い聞かせ歩き出した。

宿題を終わらせるのに長い年月がかかったがようやく終えることができ、次の山に進むことができることを幸せに思っている。

